

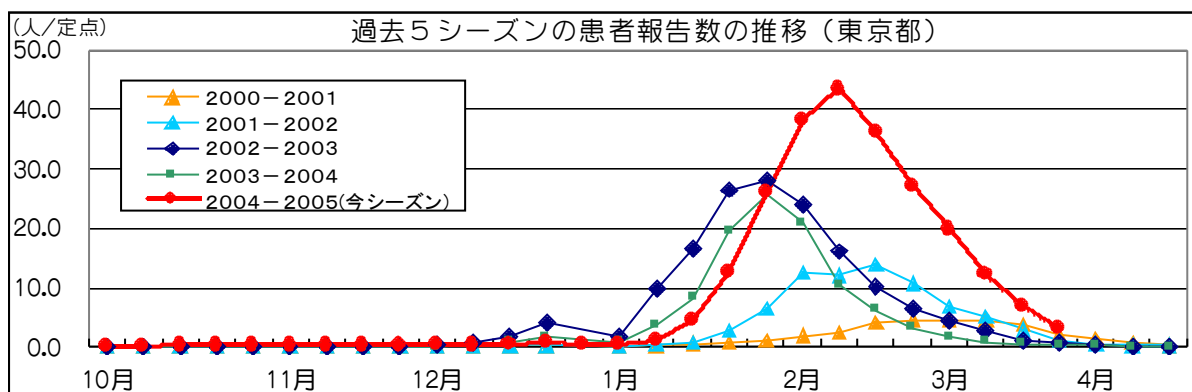
東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

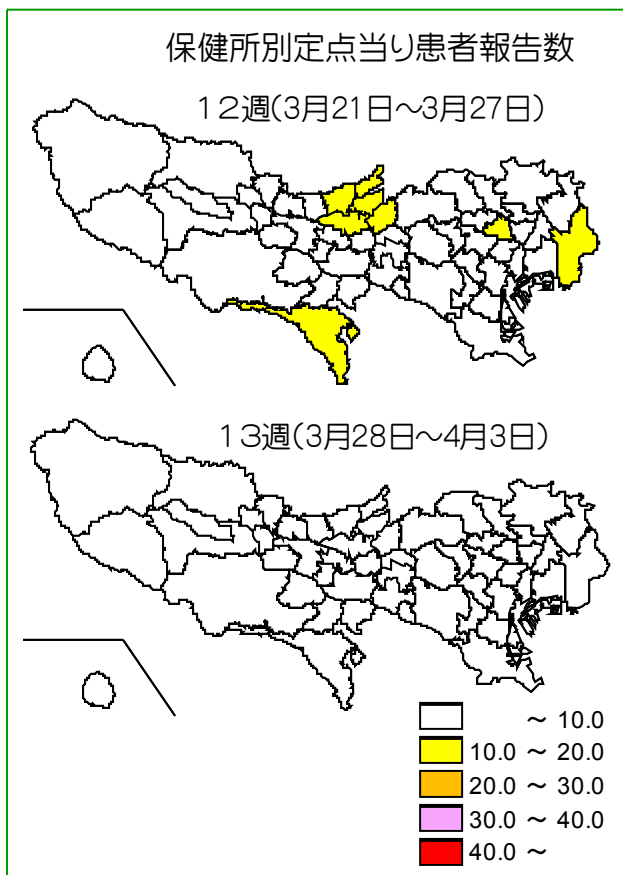
今号(第19号)のトピックス

- ・第13週(3/28~4/3)のインフルエンザ患者報告数は588人、定点当たり3.30人(去年同期 43人、定点当たり0.24人)
- ・定点当たり10人以上の地域：なし
- ・全国でも患者報告数がさらに減少
- ・第13週の東京都の流行規模は、全国で最下位(47位)

流行状況



2004-2005シーズンに限り53週があります。



1 患者発生状況

インフルエンザ定点*からの第13週(3/28~4/3)の患者報告数は東京都で588人、定点当たり3.30人(去年同期 43人、定点当たり0.24人)と、大幅に減少しています。全国でも患者報告数が46,874人、定点当たり9.99人と減少しています。

都内で定点当たりの患者報告数が10人を超えている地域はありません。

春を迎え、インフルエンザの流行は終息に向かっていきます。

*: インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では178ヶ所(全国約5,000ヶ所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。



表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数*	陽性数	インフルエンザウイルス		
			Aソ連	A香港	B
6週 (2/07-2/13) まで	467	255	3	79	173
7週 (2/14-2/20)	97	74	2	15	57
8週 (2/21-2/27)	109	80	0	12	68
9週 (2/28-3/06)	105	51	0	11	40
10週 (3/07-3/13)	73	32	0	11	21
11週 (3/14-3/20)	73	41	0	34	7
12週 (3/21-3/27)	44	28	0	22	6
13週 (3/28-4/03)	8	2	0	2	0
14週 (4/04-4/10)	4	1	0	1	0

*:上気道炎、下気道炎などの診断名で送付された検体を含む - -:検査中

2 東京都の検査情報

4月7日現在、定点医療機関から当センターにインフルエンザ、上気道炎、下気道炎等で搬入された検体から、Aソ連型5件、A香港型187件、B型372件が、遺伝子検査法により検出されています(表1)。

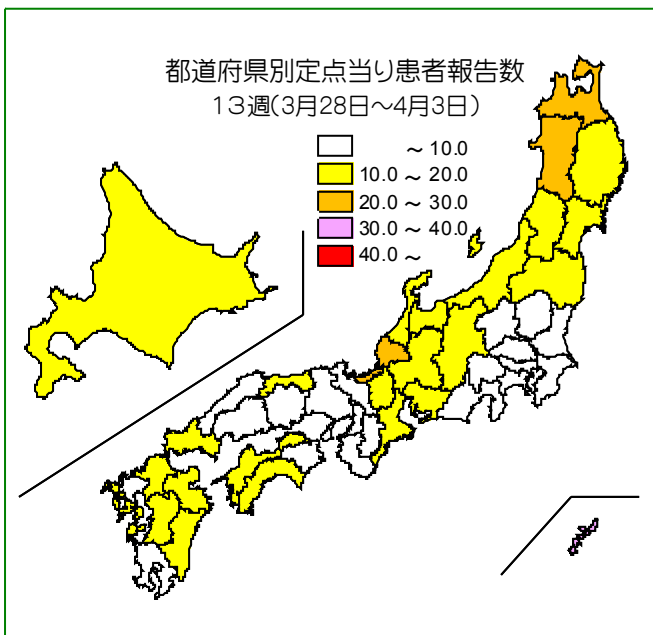
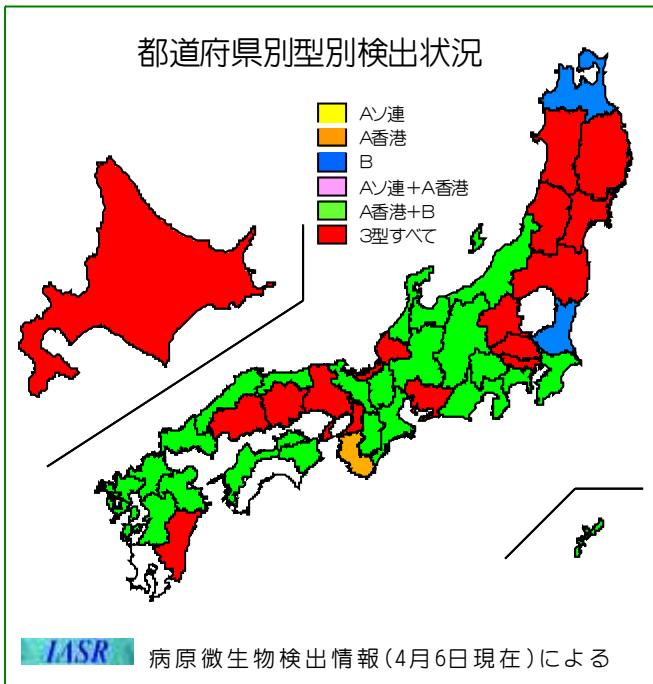
国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)によると、4月6日までに、16都道府県でAソ連型、42都道府県でA香港型、43都道府県でB型のウイルスが検出されています。今回新たに、A香港型とB型が長崎県から報告されました。

3 全国の流行状況

全国でも患者報告数が大幅に減少し、インフルエンザの流行は終息に向かっています。

第13週(3/28~4/3)現在、定点当りの患者報告数が20人を超えているのは沖縄県(33.9)、秋田県(25.3)、福井県(21.9)、青森県(20.2)の4県だけです。

東京および近県の定点当り患者報告数は大幅に減少し、東京都(3.3)は全国で最も少なくなっています。



◆インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
 東京都感染症情報センター
 (微生物部疫学情報室)
 微生物部ウイルス研究科
 多摩支所微生物研究科
 企画管理部計画調整課
 〒169-0073
 東京都新宿区百人町3-24-1
 TEL:03-3363-3213
 FAX:03-5332-7365
idsc@tokyo-eiken.go.jp
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>



古紙配合率70%再生紙を使用しています